

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号)	025-223-1622
------------	--------------

年度	令和2年度		
組織名(部)	文化スポーツ部	組織名(準部・課・機関名)	新潟市美術館
組織の目的	美術に関する市民の知識及び教養の向上に寄与します。		

作成日	R2.4.17
修正日	
評価日	R3.3.31

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					目標達成状況	評価		
				項目(単位)	H29実績	H30実績	R1実績	R2目標			R2結果	補足・参考指標
1		展覧会やイベントの充実、ショップ設置などで魅力を高め、利用者を増やし、来館者満足度の向上を目指します。	・企画展、コレクション展、各種講座などの開催 ・ミュージアムショップ・カフェとの連携	・入館者数(人)	63,708	61,213	59,273	52,000	57,850	・入館者数はエントランスのカウンタ数 ・開館日数 H28 287日間 H29 261日間 H30 262日間 R1 260日間 R2 250日間	新型コロナウイルス禍のなか、草間彌生展とトーマス展が好評であったことから目標を達成しました。	達成
			・来館者アンケート(企画展・コレクション展)	・アンケート満足度(点)	4.36	4.39	4.36	4.37	4.46	・来館者アンケート平均点(5点満点) R2 過去3か年平均	長沢明展、ベンシャーン展が、比較的好評価をいただき、他の3つの企画展も目標を超える評価をいただきました。	達成
2		学校や地域等と連携し、子どもたちが美術に触れる機会を充実させるなど、市民に親しまれる美術館づくりを進めます。	・「アートリップ」や子どもスタンプカードの実施 ・美術講座、実技講座等の開催	・学校連携事業や教育普及事業等の実施回数(回)	83	78	60	60	55		アートリップは5校で実施しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、学校連携事業や各種講座などが中止、延期となり、目標の達成が困難でした。	未達成
3		新規来館者を増やしリピーターを獲得するための仕組みづくりや、運営の工夫で収益の向上を目指します。	・西大畑旭町文化施設協議会との連携 ・SNSなどの活用	・企画展1日あたりの有料観覧者数(人)	126	126	114	113	73.6	・企画展本数(日数 有料者数) H28 5本(227日間 52,113人) H29 5本(241日間 30,433人) H30 4本(208日間 26,209人) R1 4本(238日間 27,167人) R2 5本(250日間 18,390人)	入館者数は、新型コロナウイルス禍のなか、好調であったものの、一番観覧者の多かったトーマス展が、子ども連れの家族層が多く、有料観覧率が低かったため、目標の達成が困難でした。	未達成
4		職員等に職場研修を行うとともに、館外研修に職員等を積極的に派遣し、資質向上を図ります。	・コンプライアンス研修、情報セキュリティ研修など ・財務・文書管理・IT研修など ・専門研修への派遣(学芸員)	・研修受講者数(延)	50	58	49	50	31	・職員や看視員等対象の研修受講者数 (避難誘導訓練除く)	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の一環として、各種研修等の中止が相次いだことから、目標の達成が困難であった。	未達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>新潟市美術館の運営方針に沿った取り組みを展開します。</p> <p>「運営方針」</p> <p>政令市にふさわしい、市民に開かれた個性あふれる美術館を目指します。</p> <p>1 あるもの(館蔵品を含む)地域の多様な文化資源・自然環境を活かし、新たな知を掘り起こす「発見する美術館」</p> <p>2 教育普及の事業を通じて、あらゆる世代の市民が「学べる美術館」</p> <p>3 さまざまな芸術が交差し、訪れるたびに心躍る「生きている美術館」</p> <p>4 市民同士、地域の文化施設相互が「つながる美術館」</p> <p>5 高い質を保ち、市民が誇れる「信頼の美術館」</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、年度当初には、臨時休館をせざるを得ない状況ともなり、臨時休館明け後の企画展においても、低迷が続きました。</p> <p>下半期においては、家族層をターゲットとした「トーマス展」が好調だったこともあり、令和元年度に近い入館者数となりました。</p> <p>来館者からは、各企画展とも満足度が高いと評価され、こうした状況において美術館が果たす役割が大きいことから、今後も、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を徹底したうえで、来館者に喜ばれる企画展の開催に努めていきます。</p> <p>また、各種の講座や学校との連携事業(アートリップ)等を工夫しながら実施するなど、市美術館の運営方針に沿った取り組みを進めていくことにより、より一層の市民の美術に関する知識と教養の向上に努めていきます。</p>